

赤潮予報 H30-10号

平成31年2月21日
水産試験場漁場環境研究部

1 伊勢湾（調査日：2月19日）

（1）現況

赤潮は確認されませんでした。前回の調査と比較して、プランクトンが減少したことから、表層のクロロフィルaの平均は0.4μg/Lとなり、平年（過去5年平均、以下同様）を下回りました。

表層の平均水温は10.1℃で、平年を0.9℃上回りました。

表層の栄養塩類の平均は前回と比べて窒素、リンともに横ばいからやや増加したものの、窒素は平年を下回り、リンは平年並でした。

（2）予測（予測期間：2月下旬～3月上旬）

〔赤潮〕赤潮が発生する可能性は低いでしょう。

〔栄養塩〕横ばいからやや増加するでしょう。

現在、栄養塩が乏しい状況であることから、赤潮が発生する可能性は低いと予想されます。気象庁によれば、降水量は平年と比べて多い予報であることから、栄養塩は横ばいからやや増加するでしょう。

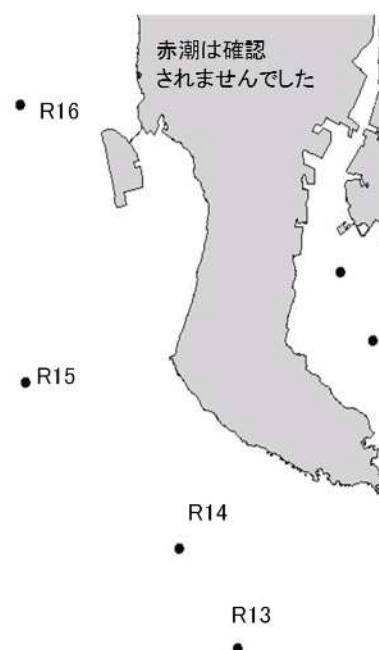


図1 調査点及び赤潮発生海域

表1 平成31年2月19日赤潮調査結果（伊勢湾）

	採水層	水温	塩分	アンモニア	亜硝酸	硝酸	三態窒素	リン酸態リン	クロロフィルa	
		℃		μg/L	μg/L	μg/L	μg/L	μg/L	μg/L	
伊勢湾	R13	0m	11.0	33.5	18.3	5.0	19.2	42.6	6.2	0.6
		5m	11.1	33.5	18.2	3.6	15.4	37.2	6.6	0.4
		底層	12.1	33.8	14.6	4.4	29.9	48.8	7.9	0.5
	R14	0m	10.2	33.1	24.6	4.6	15.2	44.4	6.2	0.2
		底層	11.1	33.4	22.6	5.2	16.6	44.3	7.0	0.3
	R15	0m	9.5	32.5	21.6	7.4	12.3	41.2	4.5	0.2
		底層	10.7	33.3	28.9	6.0	9.7	44.6	7.2	0.2
	R16	0m	9.5	31.9	37.6	6.2	22.3	66.1	5.5	0.5
		底層	10.8	33.3	23.0	6.9	7.8	37.7	6.5	0.2
	平均		10.1	32.7	25.5	5.8	17.3	48.6	5.6	0.4
	(平年値)	0m	(9.2)	(32.0)	(20.0)	(6.0)	(43.5)	(69.6)	(4.9)	(3.4)
	(前回)		(10.6)	(32.7)	(11.6)	(4.2)	(14.1)	(29.9)	(3.4)	(3.9)

2 知多湾・渥美湾（調査日：2月18、19日）

（1）現況

知多湾、渥美湾ともに赤潮は確認されませんでした。ユーカンピアが R1 で 56cells/mL、R7 で 69cells/mL 確認されました。表層のクロロフィル *a* の平均は知多湾 2.4 $\mu\text{g/L}$ 、渥美湾 17.1 $\mu\text{g/L}$ で、知多湾は平年を下回り、渥美湾は平年を上回りました。海面の着色は認められませんでした。R4 でプロロセントラムが多くなっていました。

表層の平均水温は知多湾 9.5 $^{\circ}\text{C}$ 、渥美湾 6.8 $^{\circ}\text{C}$ で、平年よりも知多湾は 0.6 $^{\circ}\text{C}$ 、渥美湾は 0.1 $^{\circ}\text{C}$ 高くなりました。

表層の栄養塩類の平均は前回と比べて、知多湾、渥美湾ともに窒素及びリンが低い水準で推移し、平年並でした。



図2 調査点及び赤潮発生海域

（2）予測（予測期間：2月下旬～3月上旬）

〔赤潮〕局所的に赤潮が発生する可能性があるでしょう。

〔栄養塩〕低い水準で横ばいでしょう。

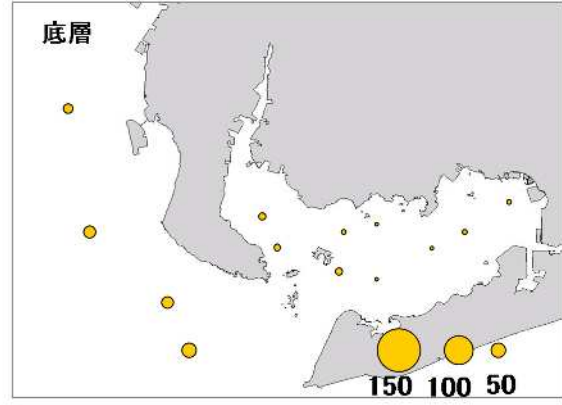
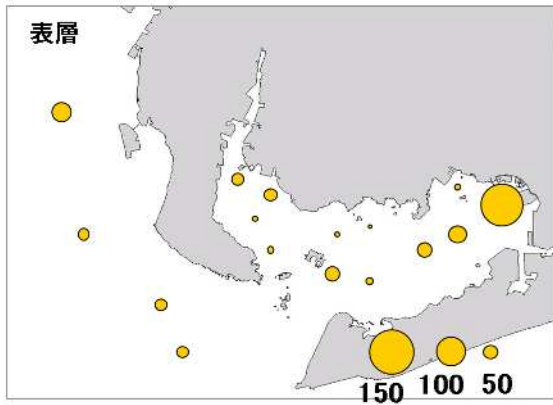
現在、渥美湾の豊川河口付近の測点には栄養塩があることから、局所的に赤潮が発生する可能性があると考えられます。気象庁の予報によれば、降水量は平年と比べて多い予報ですが、植物プランクトンが増殖すると供給された栄養塩を消費すると考えられるため、栄養塩は知多湾、渥美湾ともに低い水準で推移するでしょう。

※ 今回で今年度の赤潮予報を終了します。

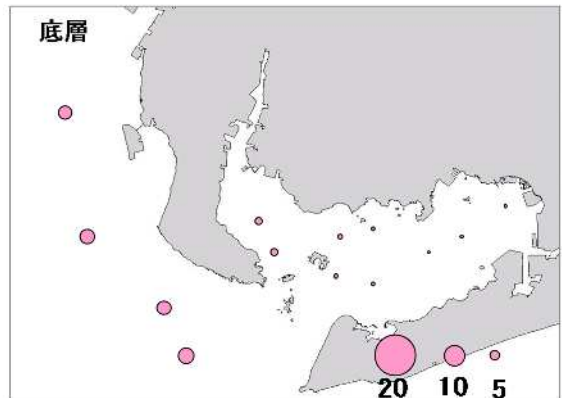
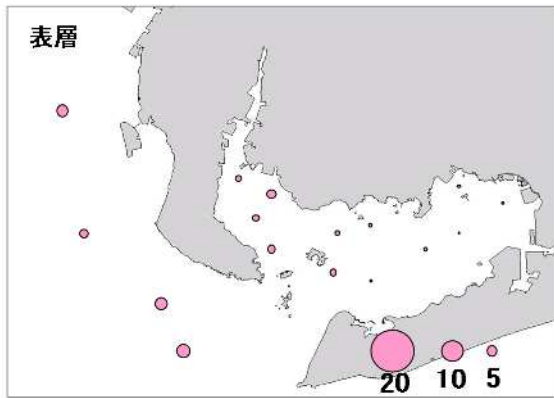
表2 平成31年2月18、19日赤潮調査結果（知多湾・渥美湾）

		採水層	水温 °C	塩分	アンモニア μg/L	亜硝酸 μg/L	硝酸 μg/L	三態窒素 μg/L	リン酸態リン μg/L	クロロフィルa μg/L
知多湾	R8	0m	9.4	32.8	11.7	2.9	8.6	23.3	3.4	3.1
		5m	9.3	32.9	10.0	2.8	6.8	19.6	3.4	2.9
		底層	9.3	32.9	16.7	2.8	7.3	26.7	4.0	1.7
	R9	0m	9.6	32.8	18.5	3.8	21.9	44.3	4.6	1.1
	R10	0m	9.6	32.7	14.5	7.0	21.2	42.7	3.3	4.5
	R11	0m	9.3	32.9	13.0	4.4	9.8	27.1	4.0	0.8
底層		9.3	32.9	16.5	2.3	7.6	26.4	4.3	0.7	
平均 (平年値) (前回)	0m	9.5 (8.9) (9.8)	32.8 (32.0) (32.4)	14.4 (15.2) (9.8)	4.5 (3.8) (2.4)	15.4 (35.8) (16.4)	34.3 (54.8) (28.7)	3.8 (3.6) (2.0)	2.4 (7.3) (15.7)	
渥美湾	R1	0m	6.6	31.6	8.0	3.1	13.4	24.5	1.9	17.5
		底層	6.2	31.2	18.4	12.2	113.9	144.5	1.6	14.8
	R2	0m	6.5	31.5	9.2	3.7	8.1	20.9	2.0	21.3
		5m	6.2	31.0	15.6	8.9	37.1	61.6	1.6	15.6
		底層	6.3	31.3	9.7	4.6	11.4	25.7	1.6	17.1
	R3	0m	6.4	31.5	11.7	3.3	6.6	21.6	2.0	19.2
		底層	6.5	31.0	5.9	8.0	36.3	50.2	2.2	53.3
	R4	0m	6.7	31.8	10.1	3.1	3.3	16.5	1.8	15.8
		底層	7.0	32.0	8.1	2.5	4.1	14.7	2.2	11.4
	R5	0m	6.8	32.0	8.6	3.2	6.1	17.9	2.3	12.0
		底層	6.6	31.8	11.6	5.5	11.6	28.7	1.7	6.9
	R6	0m	7.8	32.4	10.8	2.7	4.7	18.1	2.3	9.9
		底層	7.3	32.1	9.6	3.2	6.4	19.3	2.8	10.3
	R7	0m	7.3	32.2	8.7	2.1	2.4	13.2	2.8	10.6
		5m	7.3	32.2	8.7	2.1	2.4	13.2	2.8	10.6
底層		8.5	32.7	9.9	2.4	6.1	18.3	3.1	7.0	
R12	0m	8.0	32.5	15.3	3.1	33.6	51.9	3.7	6.8	
	5m	7.9	32.5	8.3	2.3	5.8	16.4	2.6	7.0	
	底層	7.9	32.5	14.9	2.2	10.4	27.5	2.8	6.9	
平均 (平年値) (前回)	0m	6.8 (6.7) (7.1)	31.7 (31.0) (31.7)	11.5 (19.5) (15.5)	5.8 (4.6) (4.8)	32.1 (24.6) (10.3)	49.4 (48.6) (30.6)	2.2 (1.8) (1.8)	17.1 (6.9) (3.9)	

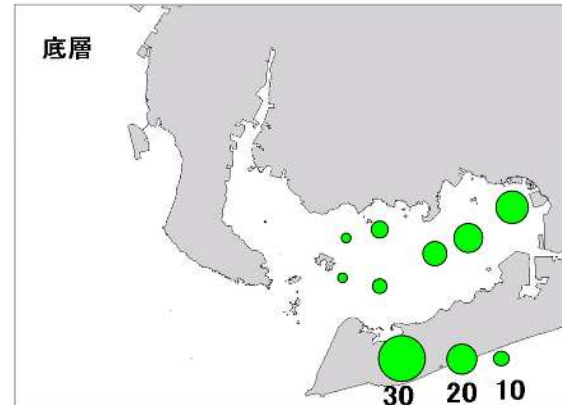
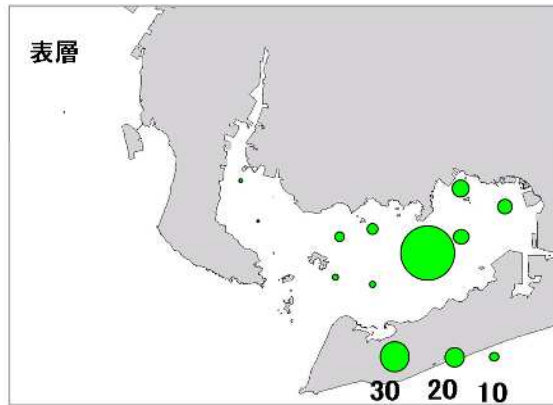
・クロロフィルとは植物プランクトンの色素のことで、相対的なプランクトン量が分かります



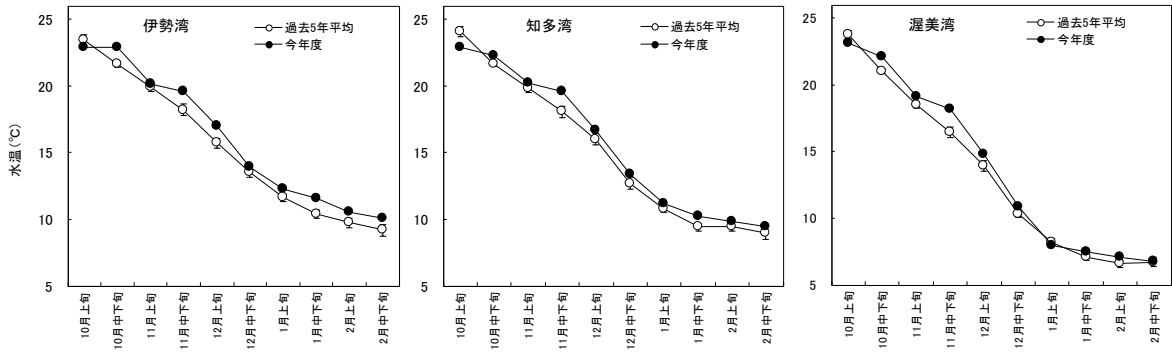
三態窒素の分析結果(μg/L)



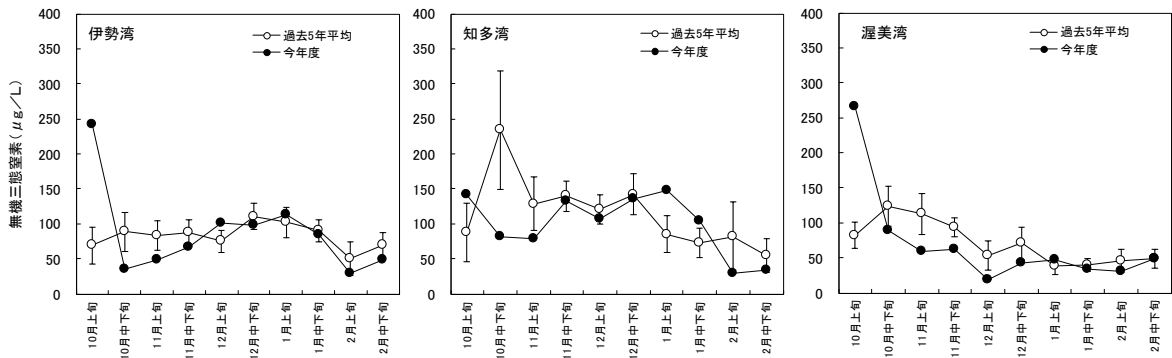
リン酸態リンの分析結果(μg/L)



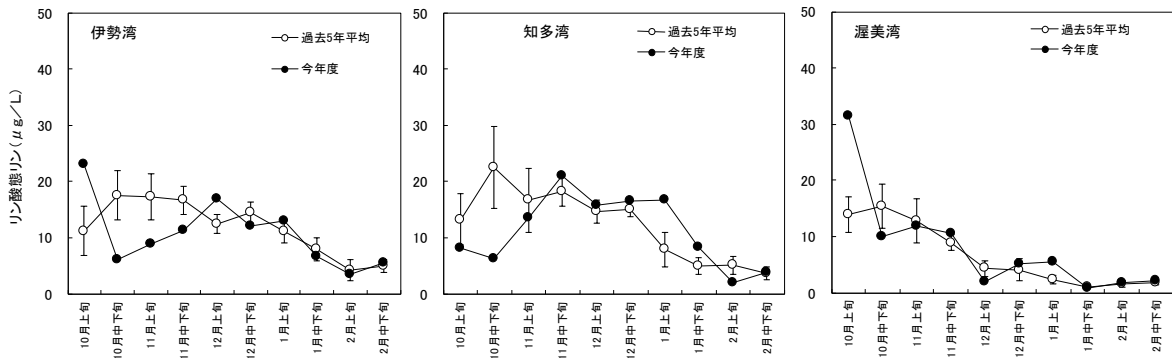
クロロフィルaの分析結果(μg/L)



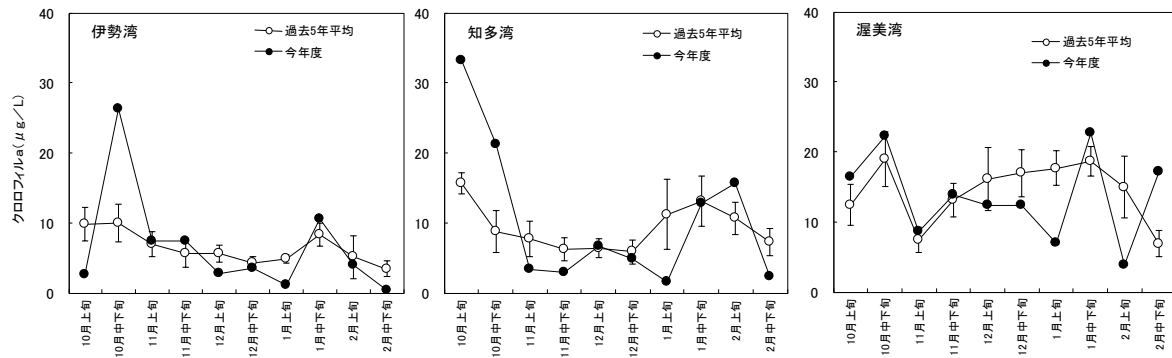
各湾表層の平均水温の推移



各湾表層の三態窒素の推移



各湾表層のリン酸態リンの推移



各湾表層のクロロフィルaの推移

注) 各図中の過去5年平均値のバーは、95%信頼区間を示します。